510通信

ポリファーマシーって知ってる?!

ポリファーマシーとは…

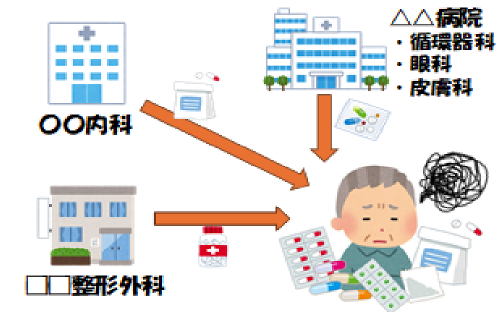
ポリ …… 多い
ファーマシー …. お薬

ポリファーマシーとは、「必要以上に薬を飲んでいて、薬による有害事象が起こっている状態」をさします。

単純に「5、6種類以上の薬を飲んでいる状態」をさすことも。

なぜポリファーマシーは起こるの?!

多病により、複数医療機関・診療科の受診



なぜポリファーマシーはダメなの?!

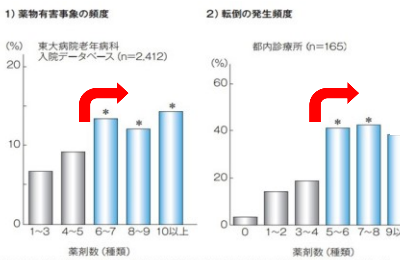
現在、ポリファーマシーには、次のような問題点がある。

①薬による有害事象

②薬の飲み間違い(どの薬を飲んだかわからなくなる)

③医療費の増大(患者負担額の増大かつ、国の財政圧迫)

④薬への理解の低下(全て覚えきれない)



出典：日本老年医学会、日本医療研究開発機構研究費・高齢者の薬物治療の安全性に関する研究研究班　編
「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」

- お薬6種類以上飲んでいると有害事象が起きやすくなる！
- お薬5種類以上飲んでいると転倒しやすくなる！

処方箋の工夫

薬剤数を少なくする	降圧薬や胃薬などの同薬効２－３剤を力価の強い１剤か合剤に変更
服薬法の簡便化	１日３回服薬から２回あるいは１回への切り替え 食前、食直後、食後３０分など服薬方法の混在を避ける
介護者が管理しやすい服用法	出勤前、帰宅後などにまとめる
剤形の工夫	口腔内崩壊錠や貼付剤の選択
一包化調剤の指示	長期間保存できない。 途中で容量調節できない。 症状によってのみ分ける（入眠剤や緩下剤）は別にする
服薬カレンダーの使用	

日本老年医学会編：健康長寿ハンドブック－実地医家のための老年医学のエッセンス、メジカルビュ－社、東京、2011.

当院では老年科専門医(高齢者医療のスペシャリスト)によるポリファーマシー対策についても外来でご相談いただけます♪